

今井信子スペシャル

～傘寿記念演奏会～

出演

今井信子(ヴィオラ)
NOBUKO IMAI (VA.)

山田和樹(指揮・ピアノ)
KAZUKI YAMADA (COND./PE.)

伊藤 恵(ピアノ)
KEI ITOH (PE.)

竹内鴻史郎(ヴァイオリン)
KOSHIRO TAKEUCHI (VN.)

今井純子(朗読)
JUNKO IMAI (NARRATION)

小樽 ヴィオラマスタークラス Alumni
VIOLA MASTERCLASS IN OTARU ALUMNI

Nobuko Imai Special オーケストラ
NOBUKO IMAI SPECIAL ORCHESTRA

NOBUKO IMAI SPECIAL -80TH ANNIVERSARY CONCERT-

PROGRAM

ドブリンカ・タバコヴァ: 古い様式による組曲(2006)

D. Tabakova: Suite in Old Style (2006)

今井信子、山田和樹、Nobuko Imai Special オーケストラ

ヒンデミット: ヴィオラ・ソナタ Op.11-4

P. Hindemith: Viola Sonata Op.11-4

今井信子、伊藤 恵

リダウト: はなのすきなうし

Ridout: Ferdinand

今井信子、今井純子

武満徹/ 森山智宏編: Songs「さようなら」、「恋のかくれんぼ」、「めぐり逢い」

T. Takemitsu / arr. T. MORIYAMA: Sayonara, The Game of Love, The Encounter

今井信子、山田和樹

J.S.バッハ/ 小早川麻美子編: ブランデンブルク協奏曲第3番 BWV1048

J.S. Bach / arr. M. Kobayakawa: Brandenburg Concerto No.3 BWV1048

今井信子、小樽ヴィオラマスタークラス Alumni

モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調 K.364

W. A. Mozart: Sinfonia Concertante for violin and viola in E-flat major, K.364

今井信子、竹内鴻史郎、山田和樹、Nobuko Imai Special オーケストラ

2023年 8.18 (金) 19:00開演(18:30開場) サントリーホール

Friday, 18 August, 2023, 7p.m. at Suntory Hall

全席指定: S ¥9,000 A ¥7,000 B ¥5,000 (税込)

チケットご予約

◎サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <https://suntory.jp/HALL/> ◎イープラス <https://eplus.jp/> <PC&携帯>

◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:243-656) <PC&携帯> ◎ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:33112) <PC&携帯>

主催 Nobuko Imai Special 実行委員会、株式会社AMATI

お問合せ AMATI Tel.03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 <https://www.amati-tokyo.com/>



AMATI

1964年のタングルウッド音楽祭—芝生で寝ころびながらボストン交響楽団の演奏を聴いていた今井信子の耳になんともいえない深く甘い音色が飛び込んできた。首席ヴァイオラ奏者ジョセフ・ド・パスクワレのソロだった。「こんな音色が出せるなら私はヴァイオリストになる」—以来50年以上にわたりソリスト、室内楽奏者、教育者として活躍、またヴァイオラのためのレパートリーの拡充、後進の指導などヴァイオラ界の未来を見つめ、走り続けてきた。今年80歳という節目を迎えるにあたり、アムステルダム、マドリードに続き東京でも記念演奏会が開催される。

本公演では小澤征爾スイス国際アカデミーで今井と共に若手奏者の指導を行う山田和樹、今井が信頼を寄せ、共演を重ねている伊藤恵、15年にわたり北海道小樽市で開催され、数々のヴァイオリストが巣立ったヴァイオラマスタークラスの卒業生ら今井にゆかりのある音楽家たちが集う。また本公演のためにプロを目指す若手奏者による特別編成オーケストラを結成、共に「音楽への憧れ」を原動力に音楽づくりを行った成果を披露する。さらにモーツァルト『協奏交響曲』のヴァイオリン・ソロには今井たったの希望で若手の竹内鴻史郎を起用するなど、音楽の未来を見つめ続ける今井らしい内容となっている。

さらに先へ—今井のたゆまぬ歩みに加わる新たな一歩を共に目撃してほしい。

今井信子(ヴァイオラ) Nobuko Imai (Va.)

桐朋学園大学卒業、イェール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル定期や小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとのザルツブルク音楽祭出演など、世界の検舞台で活躍を続けている。武満徹のヴァイオラ協奏曲<クア・ストリング・アラウンド・オクタム>など世界初演も多い。室内楽の分野ではフェルメール、ミクランジェロ両弦楽四重奏団のメンバーをつとめたほか、これまでにアルグリッチ、シフ、クレメル、五嶋みどり、マイルスキーらと共演。マールボロ、ラヴィニア、ヴェルビエ等の国際音楽祭にも頻りに招かれている。日本ではカザルスホール、音楽アドヴァイザーを務めたほか、<カザルスホール・アンサンブル>、<ヴァイオラスペース>などの企画・演奏に携わる。このほか東京、ロンドン、ニューヨークの3都市で開催された「インターナショナル・ヘンデミット・ヴァイオラ・フェスティバル」音楽監督、日蘭交流400周年を記念する数々の企画のプロデュース、武生国際音楽祭音楽アドヴァイザー、ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー、東京国際ヴァイオラコンクール審査委員長等を歴任し、常にヴァイオラ界をリードする存在としてめざましい活躍を続けている。CDはフィリップス、BIS、グラモフォン等からリリース多数。著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)がある。これまでにエイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モビル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。

山田和樹(指揮・ピアノ) Kazuki Yamada (Cond. Pl.)



© Yoshinori Tsuru

第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。パリ管、ドレスデン国立歌劇場管、チェコ・フィル、フィルハーモニア管、ベルリン放送響サンタ・チェチーリア管、ワシントン・ナショナル管など、世界の主要オーケストラに客演を重ねている。2012年から2018年までスイス・ロマン管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/2019シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団とは、2022年7月にBBCプロムスにデビュー。2023年4月からは首席指揮者兼アーティストックアドバイザーに就任する予定。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。

伊藤 恵(ピアノ) Kei Itoh (Pl.)



© 武藤章

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。83年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。ミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現hr響)、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響をはじめ、各オーケストラと共演。録音はシューマン・ピアノ全曲録音他多数。07年秋、シューマン・ピアノ全曲録音完成記念コンサートを行う。「シューベルト ピアノ作品集6」が15年度レコード・アカデミー賞(器楽部門)、第70回文化庁芸術祭賞を受賞。08年から15年までシューベルトを中心としたリサイタルを開催。18年からはベートーヴェンを中心としたリサイタルを開始。最新盤は「ベートーヴェン ピアノ作品集2」(フォンテック)。93年日本ショパン協会賞、94年横浜市文化賞奨励賞受賞。18年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

竹内鴻史郎(ヴァイオリン) Koshiro Takeduchi (Vn.)



2005年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始める。第71回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。第72回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、全国大会第2位および横浜市市民賞(聴衆賞)受賞。第90回日本音楽コンクール第3位。第7回デザインK音楽コンクール中学の部第1位。第17回ソウル国際音楽コンクールセミファイナリスト。2018年いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞。これまでに西和田ゆう氏、現在原田幸一郎、神尾真由子の両氏に師事。東京音楽大学付属高等学校3年に特別特待奨学生として在籍。使用楽器は日本音楽財団より貸与された1736年製ガルネリ・デル・ジェス「ムンツ」。

小樽ヴァイオラマスタークラス Alumni Viola Masterclass in Otaru Alumni

今井信子の創案により2004年より2019年まで15年にわたり北海道小樽市で開催されたマスタークラス。北海道の大自然の中、今井と共に外界の雑音に惑わされることなく音楽に向き合う事の出来る唯一無二の機会に世界中から受講生が参加した。参加者は現在プロの演奏家として国内外で活躍しており、本公演のためにサントリーホールに集結する。

Nobuko Imai Specialオーケストラ Nobuko Imai Special Orchestra

山田和樹の発案により本公演のために結成された9歳から30代までの多彩なメンバーによる特別編成オーケストラ。オーディションにより選抜された、将来音楽家を目指し、プロフェッショナルの気概を持つメンバーが参加している。今井信子・山田和樹と共に、音楽家を目指すうえで最も重要な「共に音楽をする喜び」、そして「音楽への憧れ」を胸にサントリーホールの舞台を目指す。

次のことをあらかじめ承知の上、チケットをお買い求めください。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。